



9月16日木曜日、漢検協会理事長 山崎信夫が久保田学園を訪問し、代表取締役 久保田勤様に「最優秀団体賞」を授与しました。

このたびのご受賞について、代表取締役 久保田勤様ならびに集団指導事業部 塔筋守様にお話を伺いました。

久保田学園は教育方針に「小中高一貫教育で自立した社会に貢献できる人材（リーダー）の育成」と、教科指導方針に「わかる→できる→自分でできる」を掲げています。この方針を実現するうえで、漢検は小学生段階に最適であると考えて採用しました。

漢検受検の狙いは3つあります。はじめに「家庭学習の習慣をつけること」。家庭学習習慣の定着は自立学習の第一歩ですが、小学生にとって、複雑で難度の高い学習を一人で続けることは難しい。小学生にも取り組みやすい漢字は、学習習慣をつけるのに適しています。次に「自信をつけること」。自信と学力に相関があることは研究から明らかです。「漢検合格」は継続的な努力の結果として生徒の大きな自信となるとともに、「努力することの価値」を見出す契機となります。最後に「語彙力をつけること」。漢字の意味や部首の意味を理解していると、熟語の意味を推測することができるようになり、語彙力は着実に向上します。

「学習習慣・自信・語彙力を身につけて欲しい」という講師のシンプルな思いに、生徒たちが小さな努力を積み重ねて応えてくれた結果、気づけばこれほど大きな賞をいただけるまでになっていたのだと、それぞれの大きな成長に、驚きと大きな喜びを感じています。